

真理子先生の

# 女性の ミカタ

## 子宮を守りましょう

真理子レディースクリニック  
院長

**伊藤 真理子**

●(いとうまに)1986年山形大学  
医学部卒業。山大病院、榎田総合  
病院を経て2005年6月に真理子レ  
ディースクリニックを開業。日本産科  
婦人科学会認定産婦人科専門医。



子宮は妊娠や出産の場  
所であるのはもちろん、  
子宮頸がんを命を落とす  
方も大勢いらっしゃいま  
す。女性にとって大切な  
子宮を守りましょう。

心がけたいことは検査  
と予防です。子宮頸がん

は性交渉でヒトパピロー  
マウイルス(HPV)に  
感染することが原因で  
す。

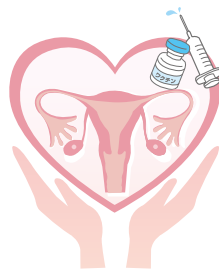
山形市の場合、20歳以  
上で、今年偶数年齢にな  
る方なら子宮頸がん検査  
の費用補助が受けられま  
す。希望で同時にHPV  
検査を行うことも可能で  
す。

HPV検査の結果が陰  
性で、自覚症状もなけれ  
ば次の検査は2年後で大  
丈夫です。昨年が偶数年  
齢で受けそびれた今年奇  
数年齢になる方も、役所  
で必要な手続きをすれば  
6月から両方とも補助を  
受けられます。

### 必要のない方も

ただ、補助対象だから  
といって、性交渉経験の  
ない人までが検査を受け  
る必要はありません。  
HPV感染や子宮頸がん  
にかかっているとは考え  
にくいからです。  
必要のない検査で不用  
意に身体を傷つけてしま  
う心配もあります。そう

いう方が希望された際に  
は十分ご説明し、子宮頸  
がん予防ワクチンの接種  
のご案内をしています。



### 妊娠中でも検査を

妊娠初期に母子手帳の  
交付を受けると、中に子  
宮頸がん検査の無料券が  
付いています。妊娠した  
子宮は柔らかく検査で出  
血しやすくなりますが、  
それでも検査は必要で  
す。妊娠して初めて産婦  
人科にかかる方も多く、

時に異常な結果が出る場  
合も見逃さないために。

### 自治体に問い合わせを

検査に対する補助制度  
は自治体により異なりま  
す。お住まいの市町村役  
場に確認し、検診を欠か  
さず受けましょう。大切  
な子宮を守るために。

〈産婦人科〉

**真理子レディースクリニック**

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●受付時間

【平日】午前/8時30分～12時

午後/14時～17時

【木曜】午前/8時30分～11時

【土曜】午前/8時～11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日は午後休診となります。

